

広島大学第40回東京イブニングセミナー

■日時: 2011年12月12日(月) 18:30 ~ 21:00 (受付 18:00~)

■場所: 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター(下図参照:JR田町駅 芝浦口 徒歩1分)

■費用: 講演会・無料、交流会・2,000円(当日支払い)

■主催: 広島大学(社会連携推進機構)

■講演プログラム

1. 18:30~18:35 講師紹介 1階国際会議室
大前 和也 (東京オフィス 所長)
2. 18:35 ~18:45 (株)神楽門前湯治村 の紹介
溝本 郁夫【(株)神楽門前湯治村代表取締役社長】
3. 18:45~19:45 講演・質疑応答



全国に発信！ ひろしま安芸高田神楽の魅力

--小さな町の挑戦「神楽門前湯治村」の事業戦略--

溝本 郁夫【(株)神楽門前湯治村代表取締役社長】

<概要> 日本固有の伝統芸能「神楽」は、全国各地に様々な形で传承されています。

広島県にもいくつかの系統の神楽が保存传承されていますが、中でも大勢の観客を集め拍手喝さいを浴びる娯楽性の高い神楽が、広島県や島根県の間山に集中しています。

神楽と言えば、何か神聖で厳かな雰囲気を感じてしまいがちですが、この地方の神楽のほとんどは、歌舞伎や能にも似た起承転結がはっきりとした物語・構成となっており、その演劇性と勇壮で華麗な舞いが、観る人を魅了する人気の理由のひとつです。

2004(平成16)年に六つの町が合併して出来た人口約3万人の広島県安芸高田市は、近年のひろしま神楽を代表する、第二次大戦後創作された「新作神楽」発祥の地として知られています。

安芸高田市では、神楽を伝統文化・芸能としての視点だけではなく、観光資源としても着目し、文化振興・観光振興・生きがい創造などにも生かすため、その拠点として、1998(平成10)年、当時人口3,000人の旧美土里町が複合施設「神楽門前湯治村」を整備し開業させました。神楽ドームなどを備えるユニークな当設備は、今年年間15万人もの人が訪れ、神楽はもちろん温泉や宿泊なども楽しめる施設として、ふるさと自慢、まちの活性化に大いに役立っています。

このまちおこし事業の経緯を報告し、今後の全国PRに対する取組みについても紹介します。

4. 19:50 ~ 21:00 交流会 5階リエゾンコーナー508AB

■お申込み方法: 添付の「参加申込書」に所定の事項を記入頂き、FAXあるいはE-mailにて下記までお申込み下さい。(定員 100名)

申込み・問合せ先

広島大学東京オフィス
東京都港区芝浦3-3-6
キャンパスイノベーションセンター409号室

電話: 03-5440-9065

FAX: 03-5440-9117

E-mail: liaison-office@office.hiroshima-u.ac.jp

